

- 問1 沖縄県の産業構造が、他の都道府県と比較して第三次産業の割合が非常に高い理由として、地理的背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 低緯度による温暖な気候やサンゴ礁などの自然資源を活かした観光業が、地域の経済を支える基幹産業となっているため。 | 2. 内陸部に位置し、海から遠いため、海上輸送に依存しない精密機械工業や高度な情報産業が集中したため。 | 3. 高緯度で冷涼な気候を活かし、大規模な機械化農業と乳製品の加工販売が一体化しているため。 | 4. 広大な平野と豊かな水資源を活用した大規模な稲作が行われ、それに関連する製造業が発達したため。 |
|--|---|--|---|
- 問2 2020年の統計において、岡山県、愛媛県、沖縄県、宮崎県の4県を比較したとき、製造品出荷額よりも農業産出額の多さが際立ち、特に肉用牛や豚、鶏などの畜産業が盛んで農業産出額において高い割合を占めている九州地方の県はどこですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 宮崎県 | 2. 愛媛県 | 3. 岡山県 | 4. 沖縄県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 九州にある特定の都市の産業別就業者割合を調査したところ、就業者全体の3分の1以上（約33.5%）が、製造業や建設業といった第2次産業に従事していることがわかりました。この都市の産業構造に見られる主な特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 行政機関や商業施設が集積し、卸売業や小売業などの第3次産業が極めて盛んである。 | 2. 歴史的な建造物や自然景観を活かした観光業が、地域経済の基盤となっている。 | 3. 大規模な自動車の組立工場や関連部品工場が集まって立地している。 | 4. 広大な平野を活用した米作りや施設園芸といった第1次産業が中心である。 |
|--|---|------------------------------------|---------------------------------------|
- 問4 鹿児島市の沿岸部において、1983年には海だった場所が2004年には「みなと大通り公園」や「水族館」が位置する陸地へと変化した。このような地形の変化をもたらした背景として正しいものはどれか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 大規模な地震によって地盤が急激に隆起し、海面下だった場所が陸地になった。 | 2. 地球温暖化の影響で海面が低下したことにより、浅瀬だった場所が自然に陸地化した。 | 3. 都市機能の拡充を目的に、土砂などで海を埋め立てて新たな土地を造成した。 | 4. 火山の噴火によって流出した溶岩が海岸線に到達し、冷えて固まることで土地が広がった。 |
|---|--|--|--|
- 問5 鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、火山噴出物が堆積してできたシラス台地では、その土地の性質からどのような土地利用が一般的ですか。最も適切な理由と内容の組み合わせを選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 年間を通して気温が低く土壌が凍結するため、農地にはせず牧草地として利用されている。 | 2. 保水力が非常に高く、常に湿り気を帯びているため、大規模な水田地帯として利用されている。 | 3. 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくいいため、古くから畑として利用されている。 | 4. 土壌に塩分が多く含まれており農作物の栽培に適さないため、主に工業用地として利用されている。 |
|--|--|--|--|
- 問6 日本の各地方における農業産出額の品目別割合に関する説明として、九州地方の特徴を正しく述べているものを次から選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 肉用牛や豚などの飼育が盛んであり、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。 | 2. 他の地方と比べて米の占める割合が非常に高く、全体の半数近くを占めている。 | 3. みかんやりんごなどの栽培が盛んであり、果実の占める割合が他の品目より突出して高い。 | 4. 大都市への出荷に向けた近郊農業が盛んであり、野菜の占める割合が最も高い。 |
|--|---|--|---|
- 問7 九州地方の北西部に位置するある県は、東側を福岡県、西側を長崎県に挟まれており、北側は対馬海流が流れる玄界灘、南側は日本最大の干満差で知られる有明海という、特徴の異なる二つの海に面しています。この条件に当てはまる県はどこですか。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長崎県 | 2. 佐賀県 | 3. 熊本県 | 4. 大分県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問8 九州地方の自然環境とそれを利用した産業について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 九州南部に広がるシラス台地は、火山灰が降り積もってきた水持ちの良い地質であるため、古くから大規模な稲作地帯となっている。 | 2. 阿蘇山やくじゅう連山などの活火山が多い地理的条件を活かし、大分県などを中心に地熱エネルギーを利用した発電が盛んに行われている。 | 3. 明治時代に官営の八幡製鉄所が福岡市に建設されたことで、周辺の火山から産出される鉄鉱石を利用した重化学工業が発展した。 | 4. かつて石炭産業で栄えた筑豊地域では、エネルギー革命による需要の変化に伴い、火山の地熱を熱源とした繊維工業や食料品工業への転換が進んだ。 |
|---|--|---|--|
- 問9 宮崎県において、きゅうりなどの生産にビニールハウスなどの施設を用いた農業が積極的に行われている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|------------------------------------|---|
| 1. 大都市の近郊という立地を活かして、輸送コストを抑えながら新鮮な野菜を届けるため | 2. 他の地域からの出荷が少なく、市場での取引価格が高い時期に合わせて出荷を行うため | 3. 土地の傾斜を活かして、機械による大規模な農作業を効率化するため | 4. 冷涼な気候を利用して、他の地域が収穫を終えた後の時期に出荷を遅らせるため |
|--|--|------------------------------------|---|
- 問10 鹿児島県の農業についてまとめた資料の中で、広大な台地を利用して茶の栽培や畑作、畜産が盛んに行われている背景として説明される、この土地の成り立ちはどのようなものですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 地殻変動によって海底が押し上げられ、平らな台地となった | 2. 森林を大規模に伐採し、人工的に土を盛り土して造成した | 3. 河川が長年かけて山から土砂を運び、平坦な土地を形成した | 4. 過去の巨大な火山活動による火砕流などの噴出物が堆積した |
|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問11 九州地方南部に広がるシラス台地は、火山灰が堆積してできた地形で水はけが良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。このような自然環境を背景に、鹿児島県で特に発展した農業の特色として最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業 | 2. 温暖な気候を利用したビニールハウスによるピーマンやきゅうりの促成栽培 | 3. 急傾斜地を切り拓いて作られた段々畑での温州みかんやレモンなどの果樹栽培 | 4. 広大な土地を利用して乳用牛の飼育と、バターやチーズなどの乳製品の加工 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問12 千葉県、北海道、大阪府、沖縄県の4つの地域の航空貨物輸送量を比較した統計において、国内線の輸送量に比べて国際線の輸送量の割合が非常に高く、東アジアの主要都市を結ぶ中継拠点（ハブ）としての役割を果たしている都道府県はどこか、次の中から選びなさい。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 千葉県 | 2. 沖縄県 | 3. 北海道 | 4. 大阪府 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問13 九州地方の産業統計において、金属製品の出荷額が5,000億円を超え、さらに観光やビジネスに伴う宿泊旅行者数が年間350万人を上回るなど、製造業とサービス業の両面で中心的な役割を果たしている県はどこですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 佐賀県 | 2. 福岡県 | 3. 宮崎県 | 4. 鹿児島県 |
|--------|--------|--------|---------|